

空き家の認定・判定の状況（13区、令和2年度末現在）

地区	認定・判定済数			
	特定空き家等	管理不適切	経過観察	
安塚区	73	12	32	29
浦川原区	193	17	38	138
大島区	89	7	49	33
牧区	11	1	1	9
柿崎区	212	18	49	145
大潟区	262	15	65	182
頸城区	232	11	45	176
吉川区	298	21	111	166
中郷区	21	10	7	4
板倉区	140	11	38	91
清里区	84	2	11	71
三和区	38	8	7	23
名立区	116	6	22	88
13区計	1769	139	475	1155



長野県諏訪市のRebuilding Center Japanの代表取締役・東野唯史さんが21日、「エリアリノベーションとこれからの高田」と題して講演されました。

昨年の全国での空き家総数は899万件（上越市は3034件、令和2年度末現在）、平均空き家率は13・8%。空き家対策はいまや待ったなしです。東野さんの講演では、空き家などにある古材、古道具などを再利用し、地域に新たな空間を作り、活性化につなげていくという訴えがありました。この取組には、若い人たちが大勢参加していて驚きました。空き家対策を進めるためには、所有者などによる管理の推進など課題はいくつもありますが、東野さんの話は上越市における空き家対策を考えるうえでとても参考になりました。

古材、古道具の再利用と空き家対策 議員勉強会で諏訪市での取組事例学ば

今年も「ぼくらのアールブリュット」展

「ぼくらのアールブリュット」展に11日、顔を出してきました。今回は佐藤葉月さん、坂井亮円さんなど馴染みの作家さんのほか、泉カンイチさんなど新しく出展された人もいて、興味深く見せてもらいました。全体では11人の作家さんの作品が並びました。このうち、たぶん渡部龍典さんだと思うのですが、亡くなったおじいちゃんの棺桶に絵を描いたという写真、気に入りました。



会場の無印良品直江津店の2階では何人もの作家さんがおられました。佐藤葉月さんから声をかけていただき、たっぷり話ができました。

彼女の個性あふれる絵も人生のことを真剣に考えている短いコメントも私は大好きです。これからも仲間たちと共に頑張ってください。

【ヤブマメ】 マメ科の1年草。漢字で「藪豆」と書きます。これもわが家のそばの字道にありました。つる性植物とあって、繁殖力旺盛です。一時期、わが家の庭で広がったことがありました。花期は夏から秋です。薄紫色の花を咲かせます。花言葉は「生命力の強さ」です。10月10日、吉川区代石にて撮影しました。



巣の上でくつろぐコウノトリのペア。22日午前、吉川区にて撮影。



市内各校で音楽祭・文化祭が開かれています。イラストは吉川小学校音楽祭。アンコールも出て大いに盛り上がりしました。

市内小中学校で音楽祭

はしづめ法一の活動レポート

No.2177 2024.10.26
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のいかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

空き家の認定・判定の状況（13区、令和2年度末現在）

地区	認定・判定済数			
	特定空き家等	管理不適切	経過観察	
安塚区	73	12	32	29
浦川原区	193	17	38	138
大島区	89	7	49	33
牧区	11	1	1	9
柿崎区	212	18	49	145
大潟区	262	15	65	182
頸城区	232	11	45	176
吉川区	298	21	111	166
中郷区	21	10	7	4
板倉区	140	11	38	91
清里区	84	2	11	71
三和区	38	8	7	23
名立区	116	6	22	88
13区計	1769	139	475	1155



長野県諏訪市のRebuilding Center Japanの代表取締役・東野唯史さんが21日、「エリアリノベーションとこれからの高田」と題して講演されました。

昨年の全国での空き家総数は899万件（上越市は3034件、令和2年度末現在）、平均空き家率は13・8%。空き家対策はいまや待ったなしです。東野さんの講演では、空き家などにある古材、古道具などを再利用し、地域に新たな空間を作り、活性化につなげていくという訴えがありました。この取組には、若い人たちが大勢参加していて驚きました。空き家対策を進めるためには、所有者などによる管理の推進など課題はいくつもあります。東野さんの話は上越市における空き家対策を考えるうえでとても参考になりました。

古材、古道具の再利用と空き家対策 議員勉強会で諏訪市での取組事例学ば

「ぼくらのアールブリュット」展と渡辺幸雄作品展



アールブリュット（なまの芸術）展では、イラストと短いエッセイで話題の佐藤葉月さんとゆっくり話ができました。勉強になりました。



吉川区片田の渡辺幸雄さんの作品展は18日に鑑賞しました。見ているだけで心が落ち着くふるさとの風景が見事に描かれていました。



【ヤブマメ】マメ科の1年草。漢字で「藪豆」と書きます。これもわが家のそばの字道にありました。つる性植物とあって、繁殖力旺盛です。一時期、わが家の庭で広がったことがありました。花期は夏から秋です。薄紫色の花を咲かせます。花言葉は「生命力の強さ」です。10月10日、吉川区代石にて撮影しました。



巣の上でくつろぐコウノトリのペア。22日午前、吉川区にて撮影。



市内各校で音楽祭・文化祭が開かれています。イラストは吉川小学校音楽祭。アンコールも出て大いに盛り上がりました。

市内小中学校で音楽祭

はしづめ法一の活動レポート

No.2177 2024.10.26

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八二四回 続・最後の手紙

弟の母への手紙は三回前の「春よ来い」で紹介した手紙の後に、もうひとつ書かれていました。

一〇日の午前、活動レポートを持って大湯区の弟の家を訪ねた際、弟の連れ合いの加代子さんからお茶を勧められました。「そう言えば、きょうはイサムの命日だったね」と言ってお茶の中に入れてもらいました。小さな仏壇でお参りした後、お茶をご馳走になった際、加代子さんが、「お兄さん、これ、見たことある」と言ってお兄さんの前に差し出したのは封筒です。

その封筒には、筆で書かれた勢いのある文字が縦書きで並んでいました。便箋代わりに「封筒」を使っただけですね。書いたのは明らかに弟のイサムです。

「エツ」お母さんへ

私たちが産んでくれて

ありがとう

私達を育ててくれて

ありがとう

常に身体と生活のこじを心配してくれて

ありがとう

今まで本当に

ありがとう

この文章が書いてある「封筒」の真ん中の下の方には、数字で「2023・5・14」と書いてありましたから、書いたのは間違いなく昨年(2022)の母の日です。

でも、母は一昨年(2021)の10月に亡くなっています。これを書いたとしても、どうするつもりだったのでしょうか。そもそも加代子さんから「見た」とあるか」と訊かれて、「あるよ」と答えたものの、どこで見ただか思い出せませんでした。

弟は、書いてそのままにしておくような人間ではありません。それで、私なりに考

えてみました。母に伝えるために、わが家の座敷に置いてあった母の遺骨の前で読むか、母の遺箱の中に入れていたのではないだろうか。そう思いました。

私の想像を確かめるために、昨年の母の日前後母の一周忌前後の私のブログを調べてみました。私がお母さんがこの「封筒」の実物を見ていれば、どこかに記録してあるかも知れないと思ったからです。でも、そうした記録はありませんでした。

ようやくわかったのは弟の命日から十二日後の午後でした。加代子さんに電話で、「イサムのばあちゃんへの思いを書いた例の『封筒』って、どこで見つけたの」と訊くと、イサムが亡くなった後、自宅で見つけたと答えました。自宅にあったなら、当時、イサムが使っていたフェイスブックに投稿したかも知れない。投稿を探すと、ありました。昨年の五月一四日の投稿です。

投稿のタイトルは、「お母さん、ありがとう」。投稿には母がコタツのそばで寝そべっている写真と「エツ」お母さんへという「封筒」を一枚の写真におさめてありました。タイトルの下には、「今、気持ちいいです!」という言葉も書いてあります。この投稿をするために弟は、「封筒」に母への思いを書いたのです。

私もこの投稿に「超いいね」のボタンを押していました。「どこかで見たことがある」と思ったら、この投稿で「封筒」を一度見ていたのです。改めて「封筒」を読むと、母へのあふれる感謝のメッセージであることが分かりました。いいものを残してくれました。

弟のこの投稿には吉川区のK子さんから、「素晴らしい母の日プレゼントですね。お母さんきつと喜んでいらっしやいますよ」というコメントを寄せていただきました。私もそう思います。この「封筒」こそ弟の、母への最後の手紙となりました。

米沢市の上杉神社宮司を迎え歓迎会

吉川区大乘寺町内会主催で21日、山形県米沢市の上杉神社宮司、大乘寺真二さんの歓迎会が行われました。上杉謙信とかかわりのある神社やお寺の関係者など40数人が集まり、交流しました。

主催者を代表して挨拶したのは大乘寺の関沢義男さん。「上杉謙信の葬儀で導師を務めた大乘寺住職と吉川区の大乘寺が深いかかわりがあることを知って、このことは後世にしっかりと伝えたいと思った。地域活性化にもつながっていきたい」と挨拶しました。

来賓として招かれた春日山神社

宮司の風間常樹彦さんは、謙信の遺骨が米沢に行った歴史などを語りながら、「文化や歴史は一つひとつ(の取組)を積み重ねながら後世につながっていく。ひとつの絆となって前進していけばうれしい」とのべました。大きな拍手で迎えられた大乘寺真二さんは、「5年ぶりに上越市に来た。ハイクオリティの上越市にお招きいただきうれしい」とし、これまでの两市の交流の歴史に触れて、親しみを込めて挨拶されました。

歓迎会では、寺院や神社の関係者などと楽しく交流できました。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月16日(水)	10月23日(水)
上越消防署	0.053	0.053
上越南消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.057	0.047
名立分遣所	0.063	0.060
高士分遣所	0.050	0.050

